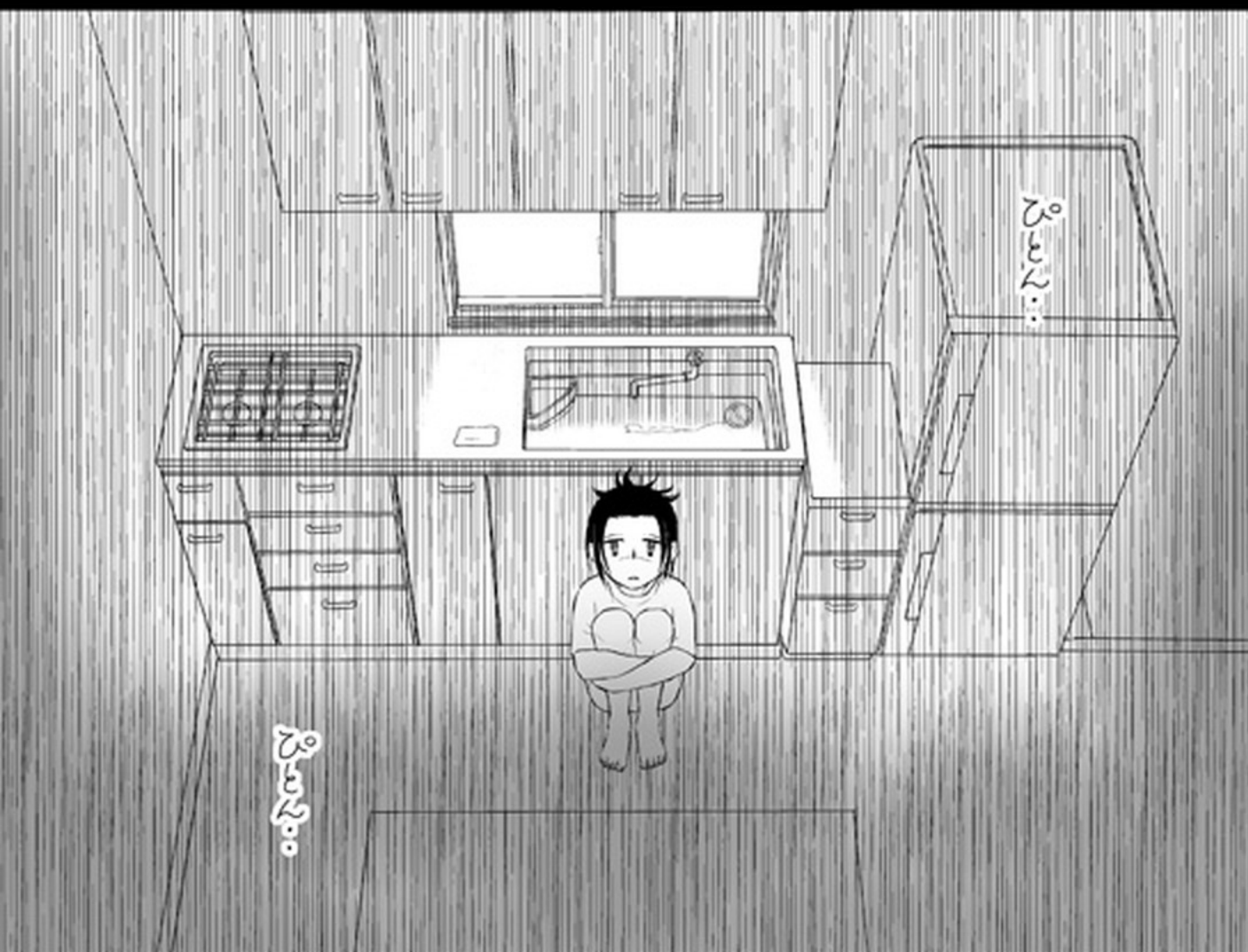
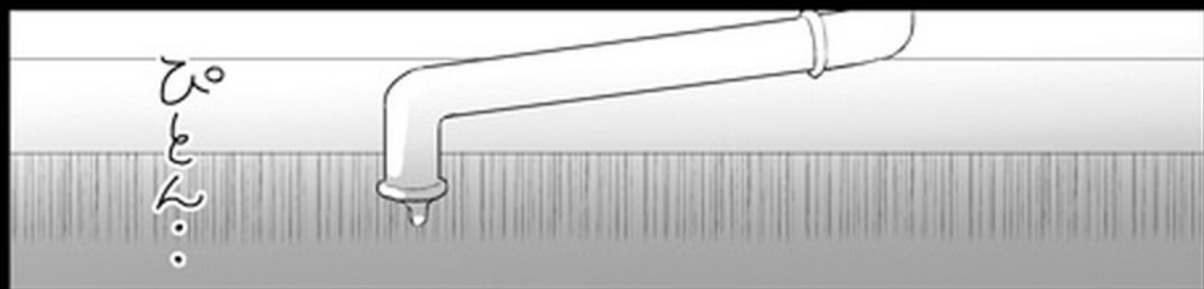




ヒイタ



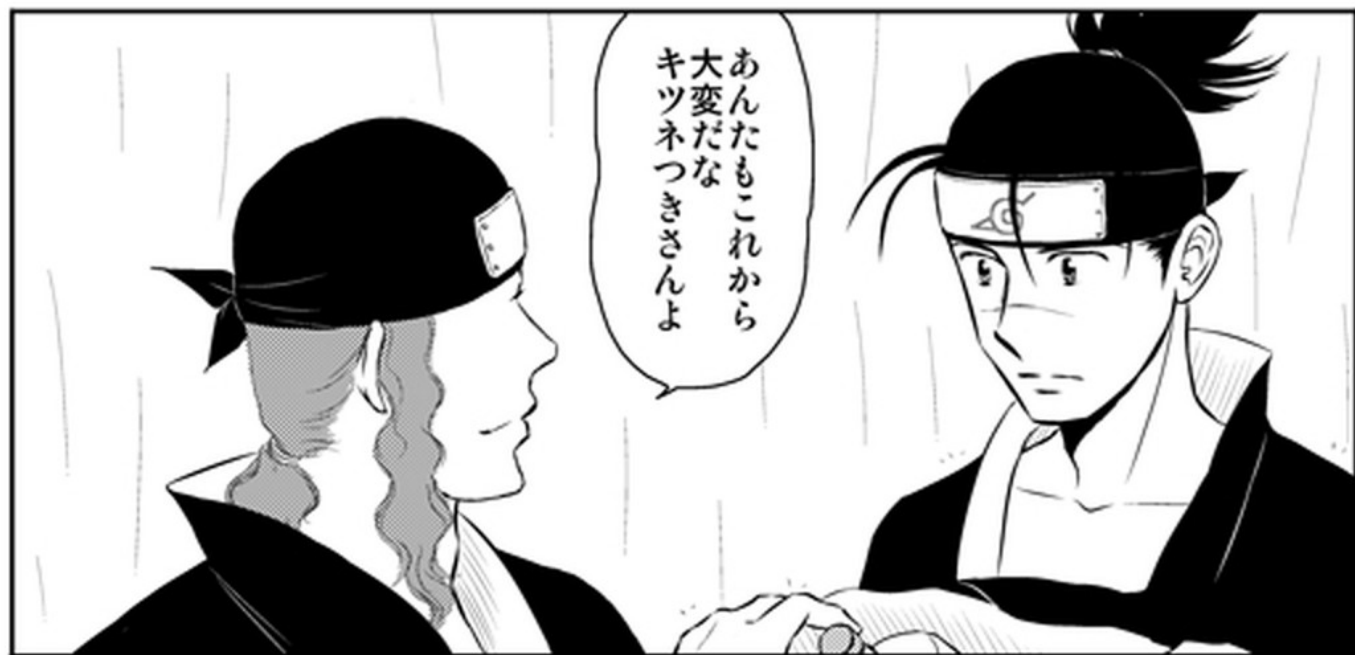
滴滴...

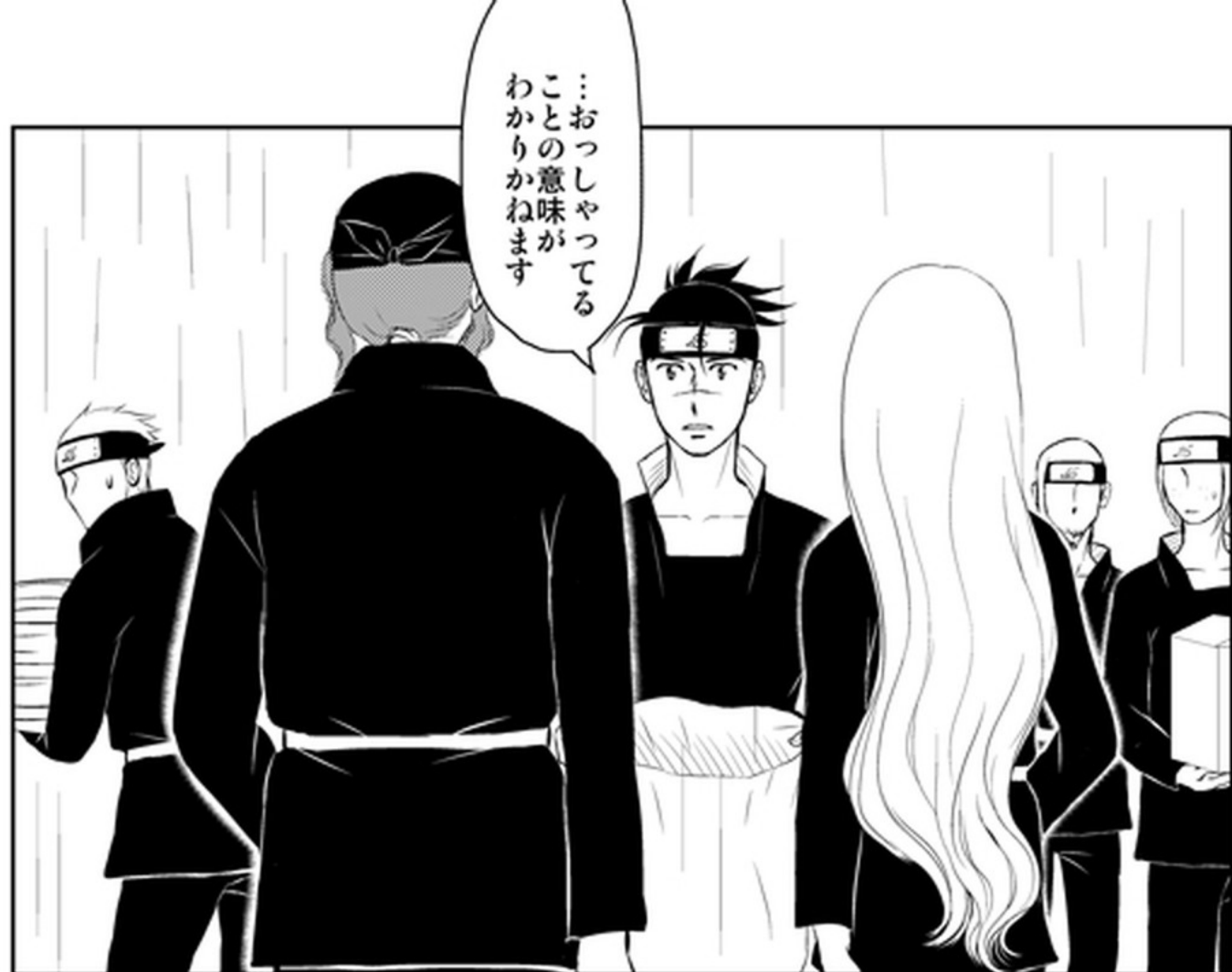
ピエータ

コミックス16巻の木ノ葉崩し直後あたりのお話です

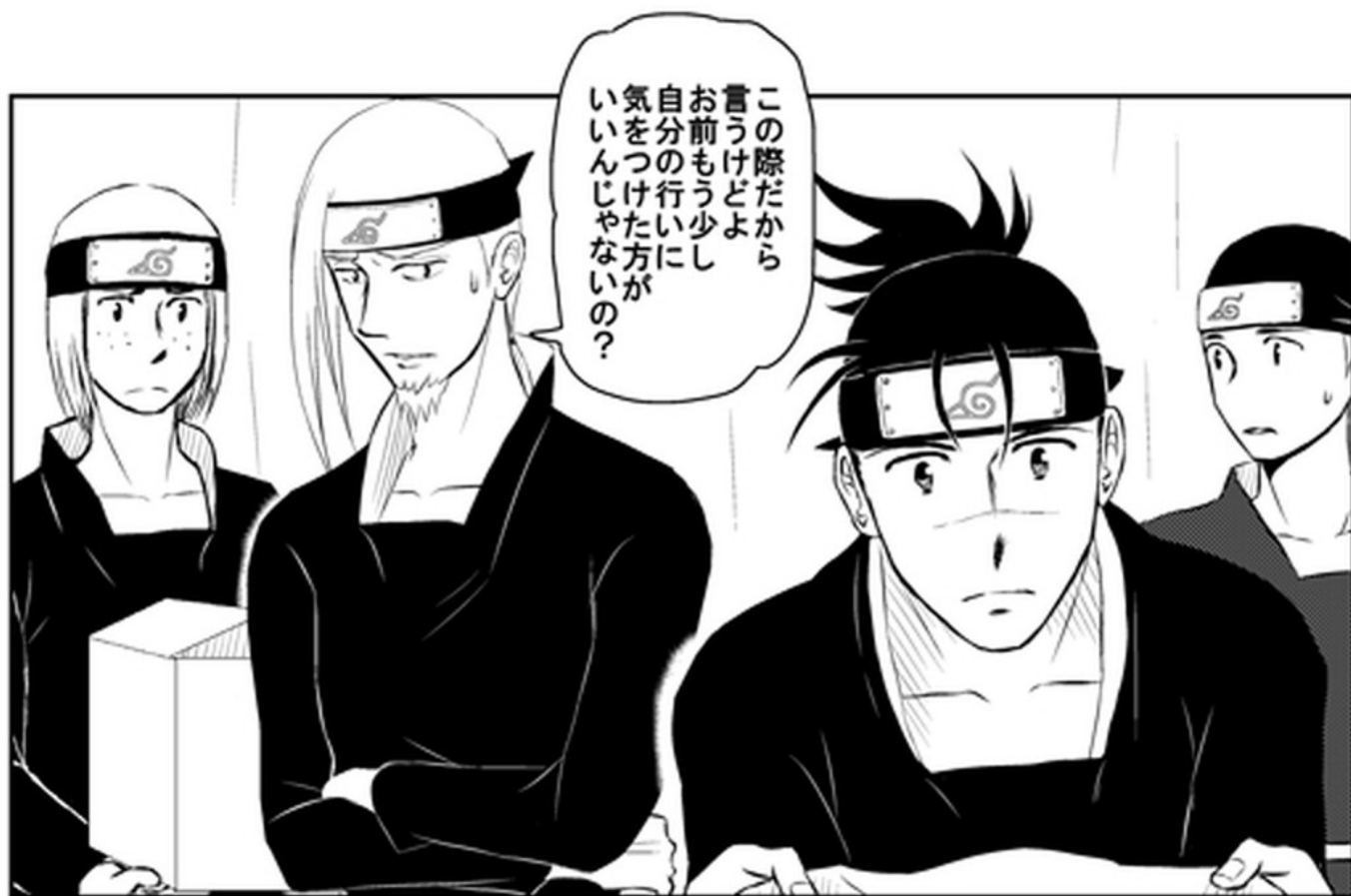












砂だって
今回あっさり
木ノ葉を
裏切ってた
じゃないか

んんん

つまりさ
あんま目立つなって
ことだよ

さっきの
木ノ葉丸の
アシだつて
ちよつとやりすぎ
じゃないの？

この間も
カカシ上忍に
公衆の面前で
たて突いたり…

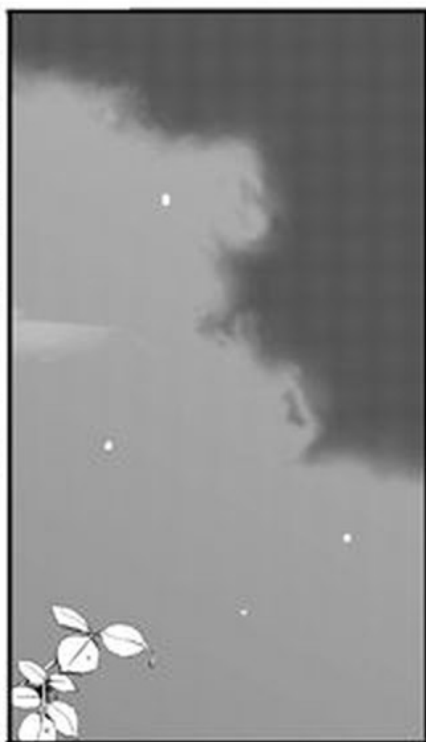
ああいうイルカの
目立った態度を
昔からよく
思つてない奴が
三代目が亡くなった今
おおっぴらに
攻撃してくるぜって
こと！

…
実際
そういう奴らから
ナルトを守るために
一旦里外に出すつて
噂じゃないか

なあ？

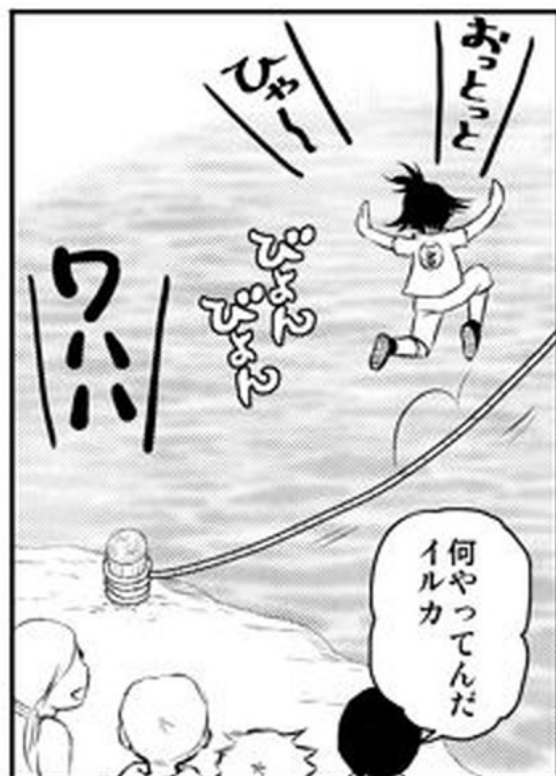
…お前ら…
俺やナルトのことを
ずっとそんな風に
思つてたのかよ…





俺を
見て下さい
三代目

俺もう
泣いて
しょう
ない？









これからこの里が
自分はどうなるのか
先が見えずに

不安に
かられている…



ああそうだ
みんなも俺も
誰もかれも
気が立っている

「みんな
気が立ってんだよ
いろいろありすぎて」



あるいは
そんなこと
なかつたか
ようにな
はしゃいで
日常に戻れ
じやないか

俺は…



愚痴ったり
不満を
口にしたり



でもお前らには
家に帰れば
心許せる
家族がいて







…はたけカカシ
上忍じゃない
れすか!

ハイ
そうですよ
こんばんは



…こんばんは…

えとね…
ハイボール
ちょうだい



宴会好きだった
三代目を偲ぶには
まず酒…か
なるほどね



…ふうん
けっこう
人いるのね

キョ



俺も
おかわり!

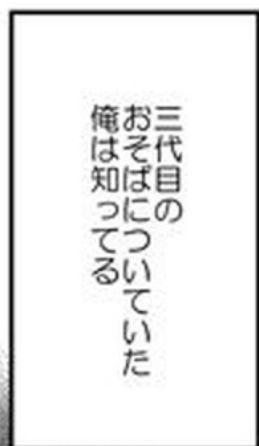
がッ

いやアンタは
もうやめとき
なさいって…
この人お冷やで
あと茄子の
一本漬けと…



\$! ☆ @
% & * ()
+ , - . / : ;
< > = > vi Ш





三代目や
ご意見番
あダンソウさま……
あの年代の重鎮たちは





こういう日は…
だめです

ただ悲しい
だけでなく

……

ひゅく

泣いて気が済むなら
帰りますけど

…つらいならさ
帰ってから一人で
思っきり泣きなさいよ



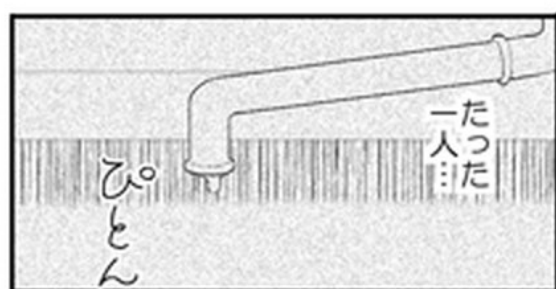
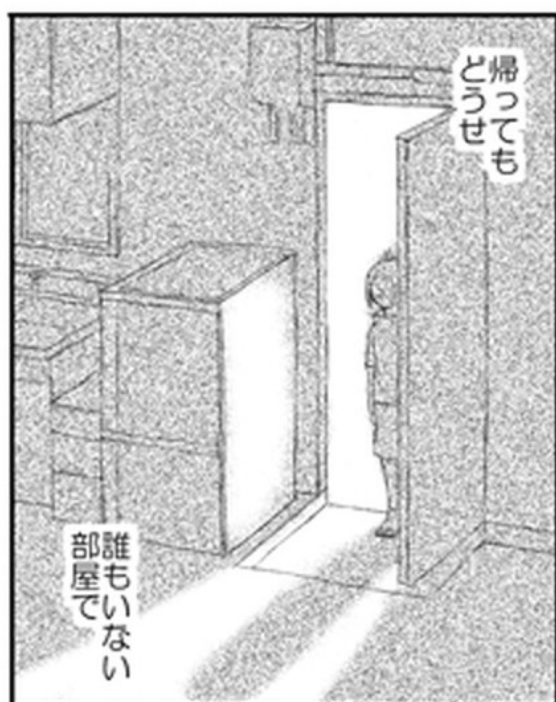
腹立たしかったり

自分を冷静に
省みる余裕が
ないような

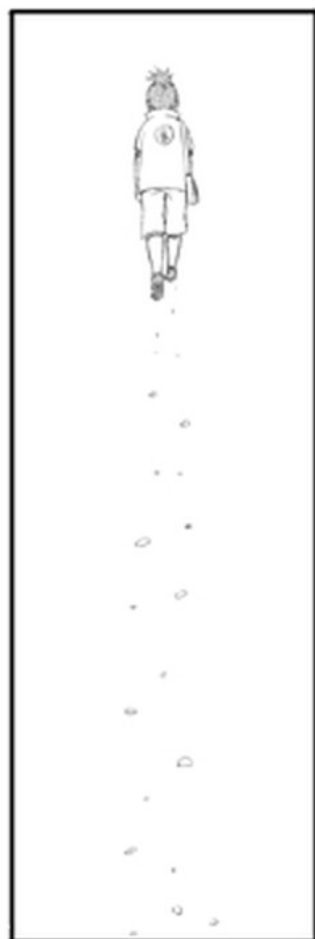
今日みたいな
日は……

誰かを恨んだり
うらやんだり

ねえ
せんせ



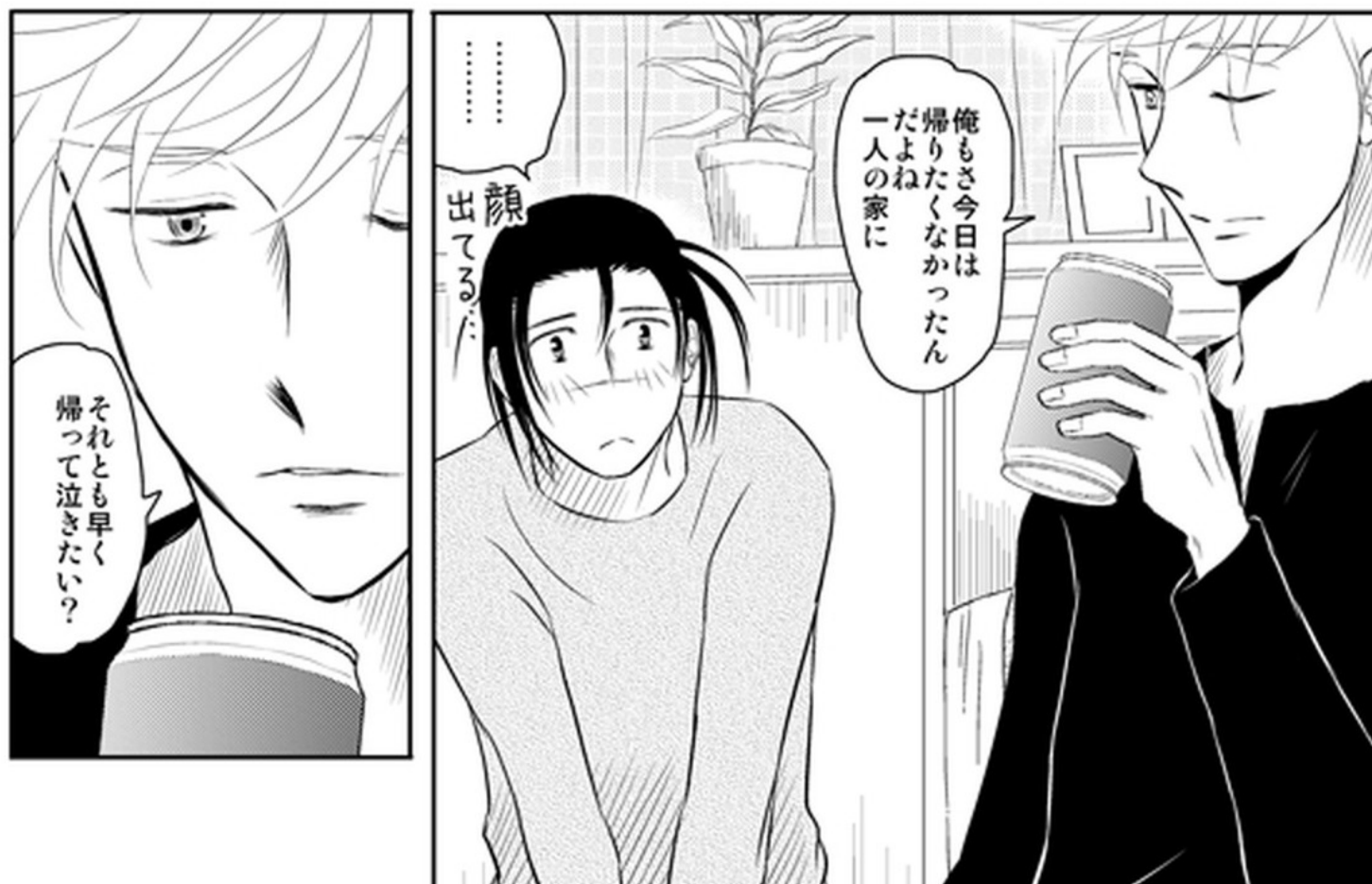
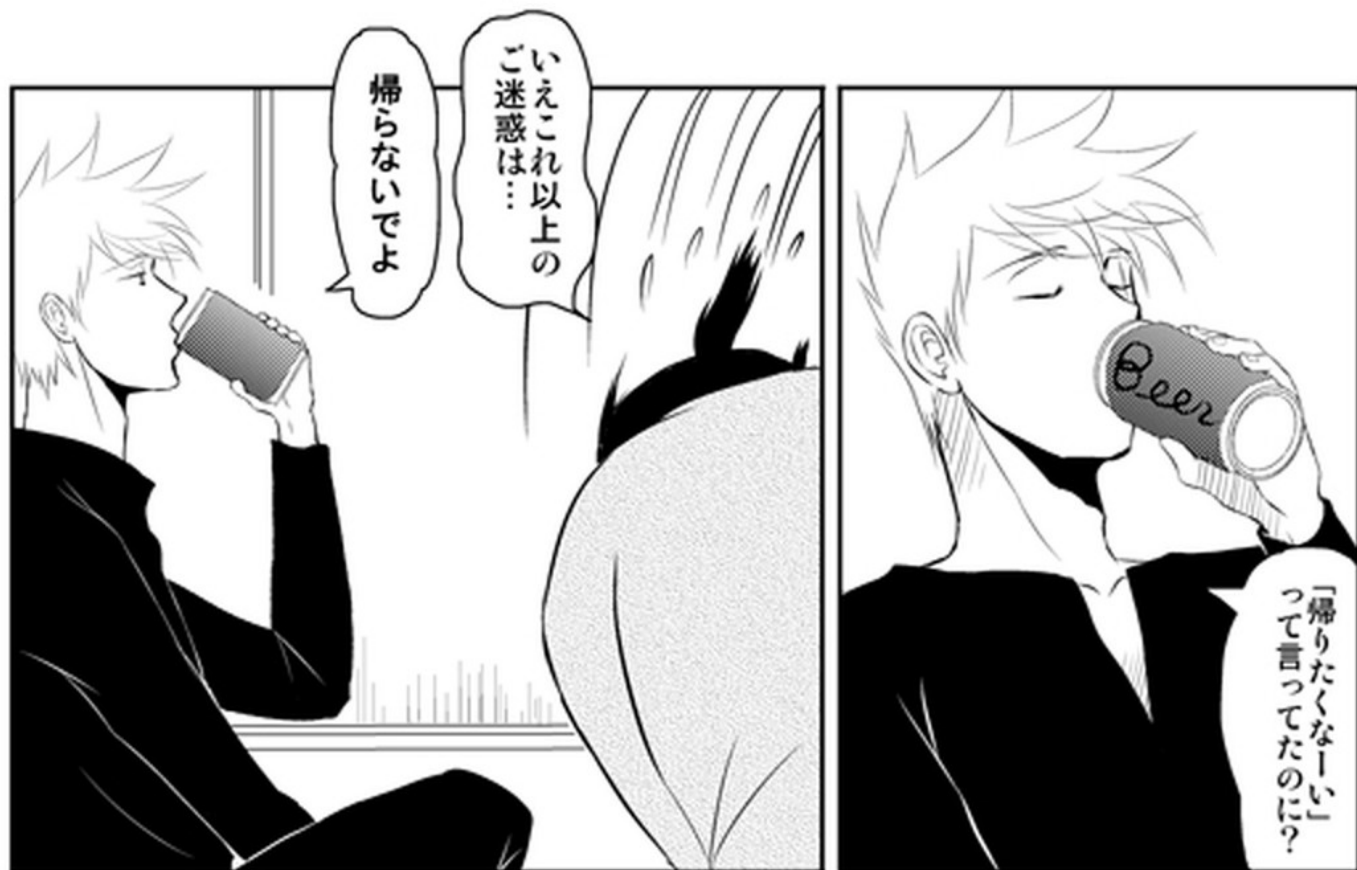
帰さないな





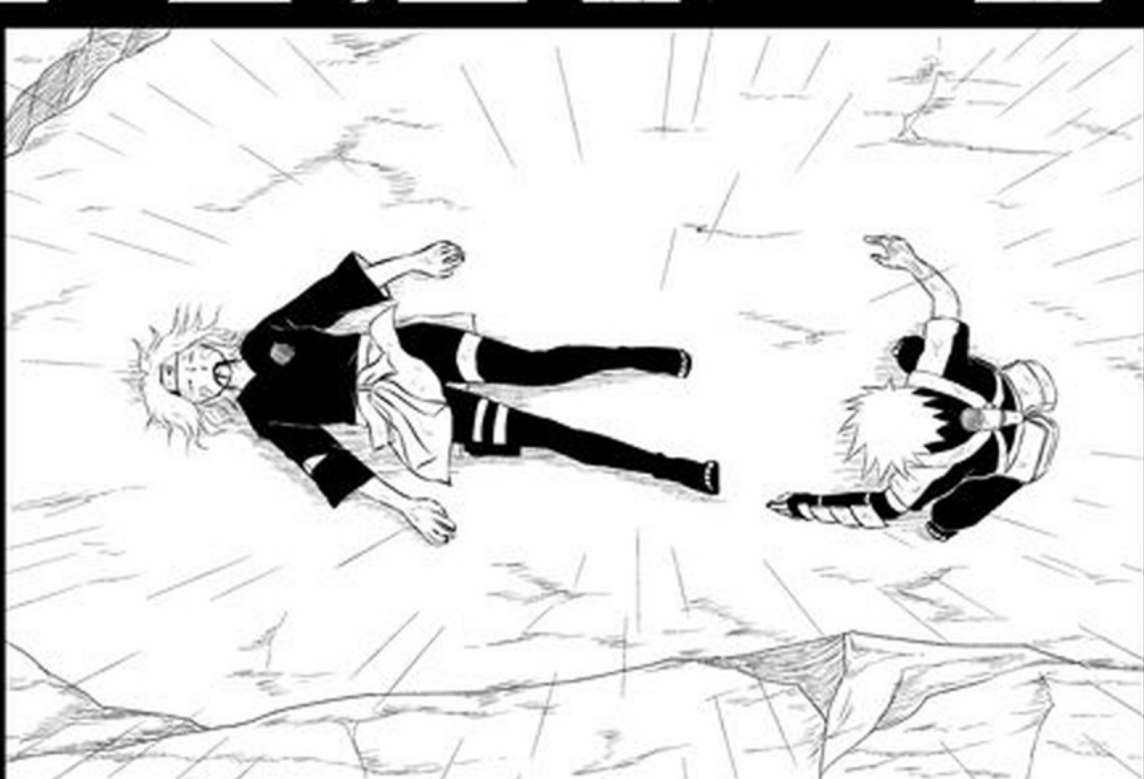
















誰も守れない俺を







いいじゃない
アンタさっき
「おわびする」
って
言ったでショ？



さ
触っても
俺おっぱい
ないですよ？

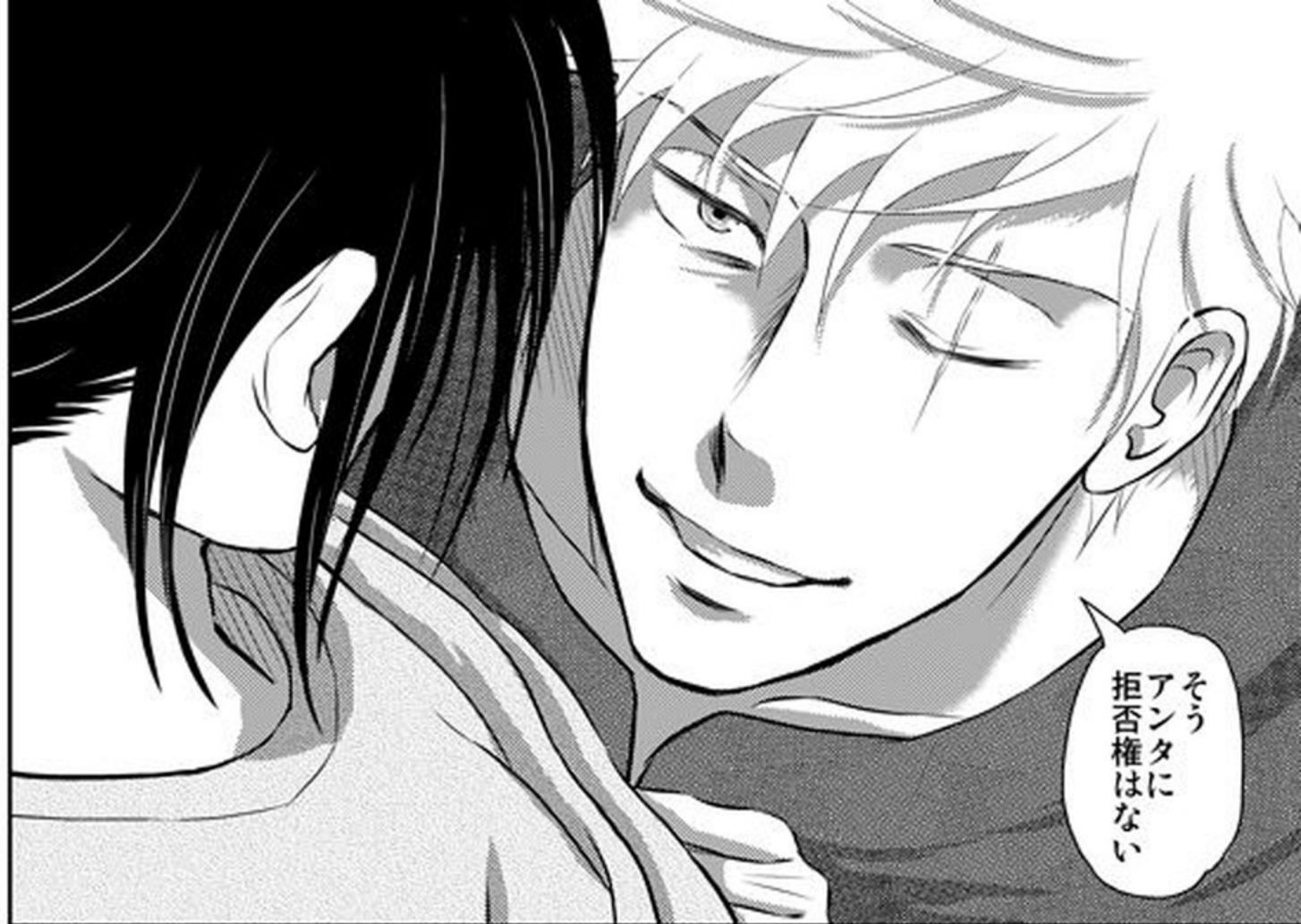
知ってるよ
そんなこと

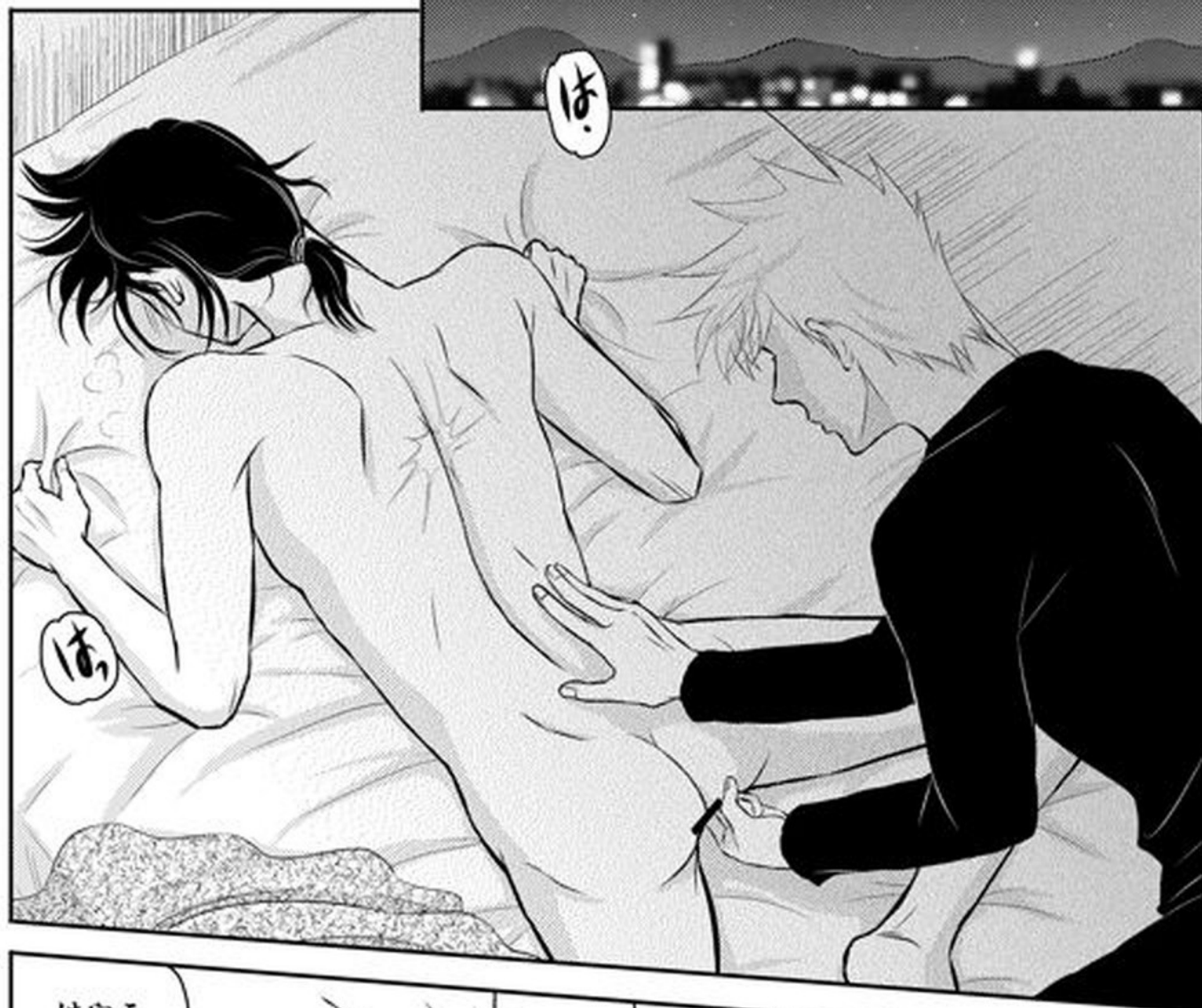


…それは

上忍からの
とき命令ですか？







これがミズキに
やられた傷…
けっこう深いね



せんせ
腰あけて…
前も触って…
あがるから







カカシさんが
俺を触る指が

や
ちゅわんぐんぐん...

自分で
入れてもらん...
入るところまでで
いいから

ぬる

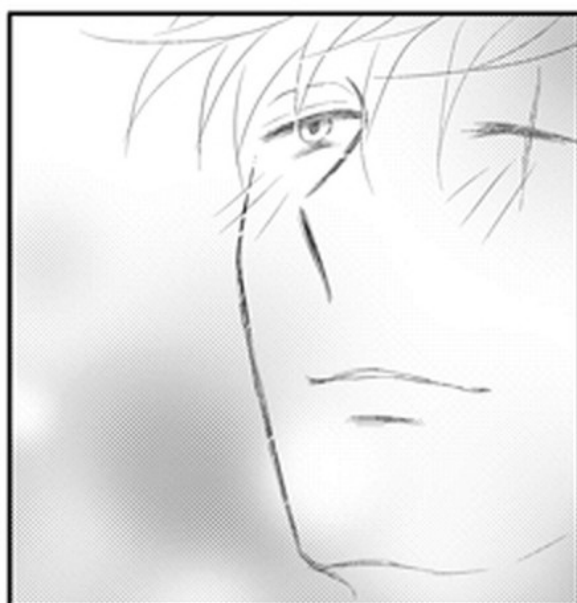
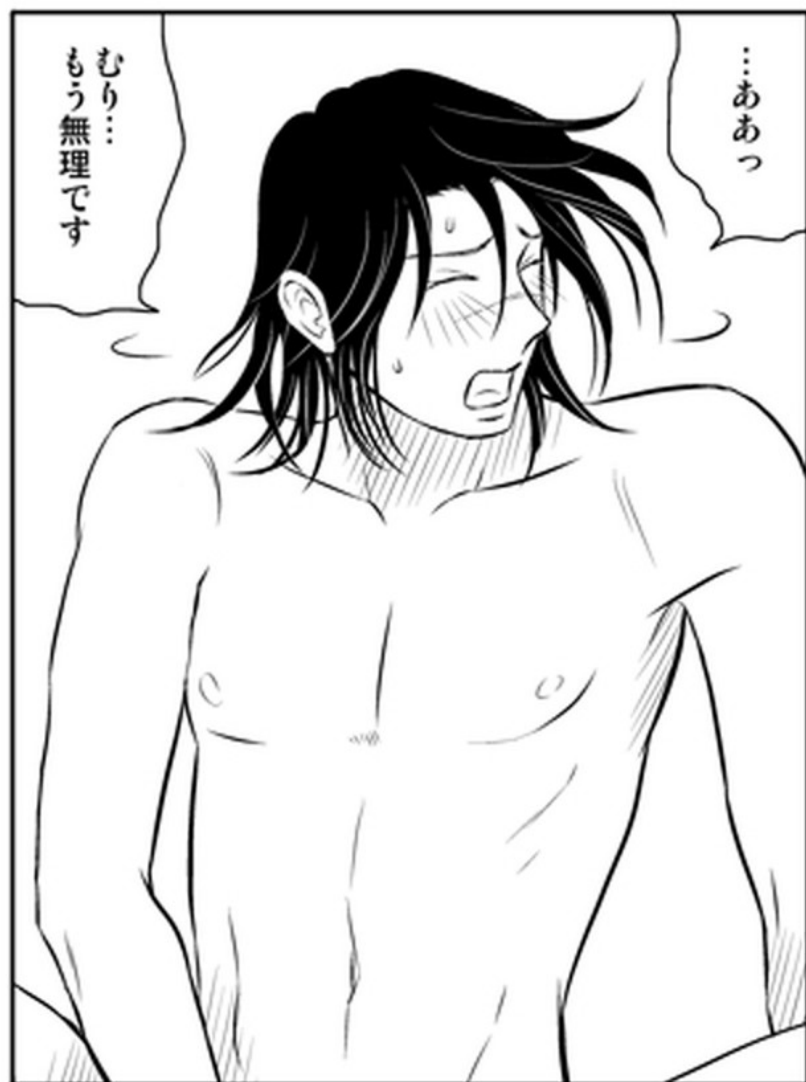
.....いい眺め...

んっ

みち

みち

ん



俺のこと
好きなんですか？



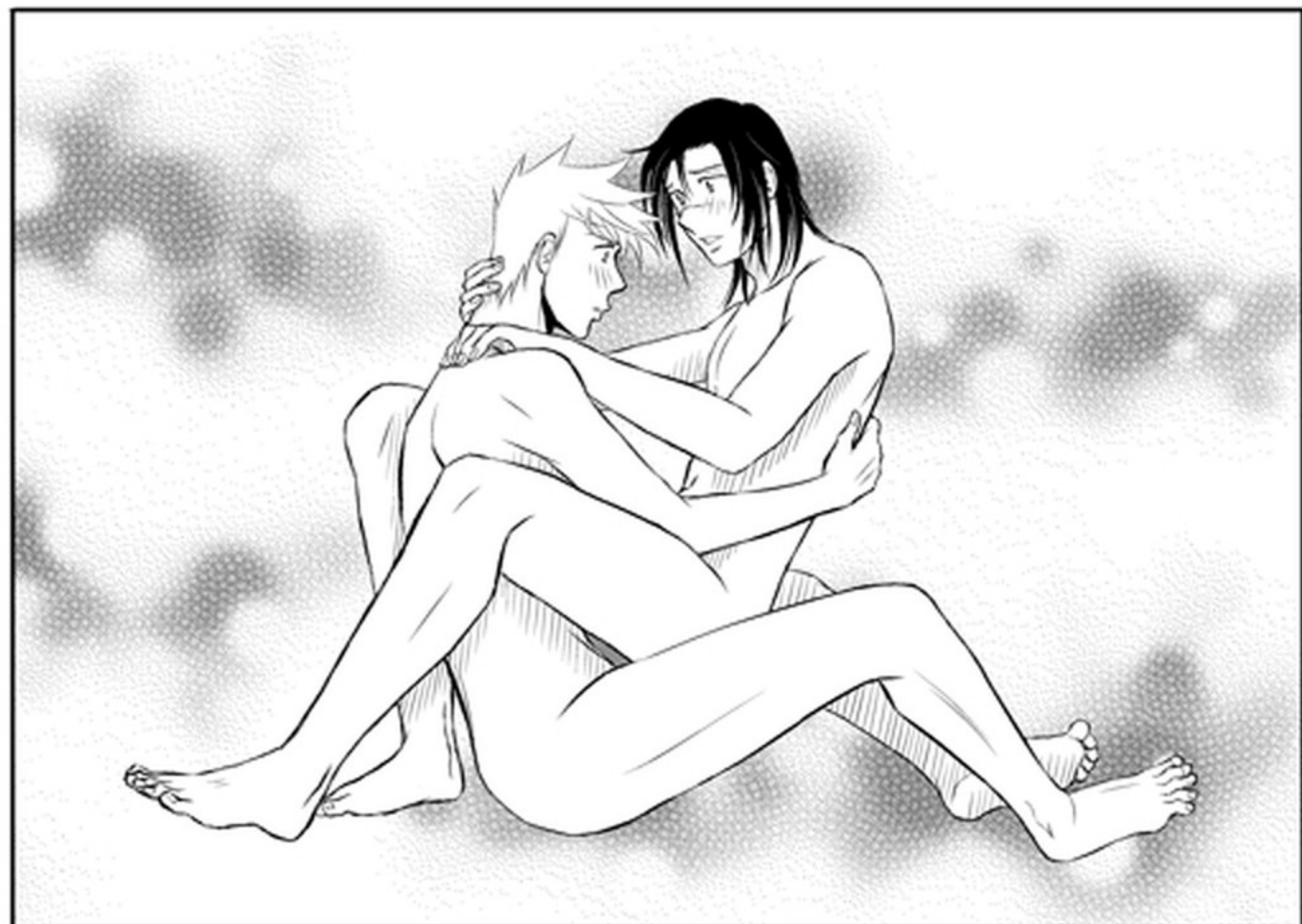


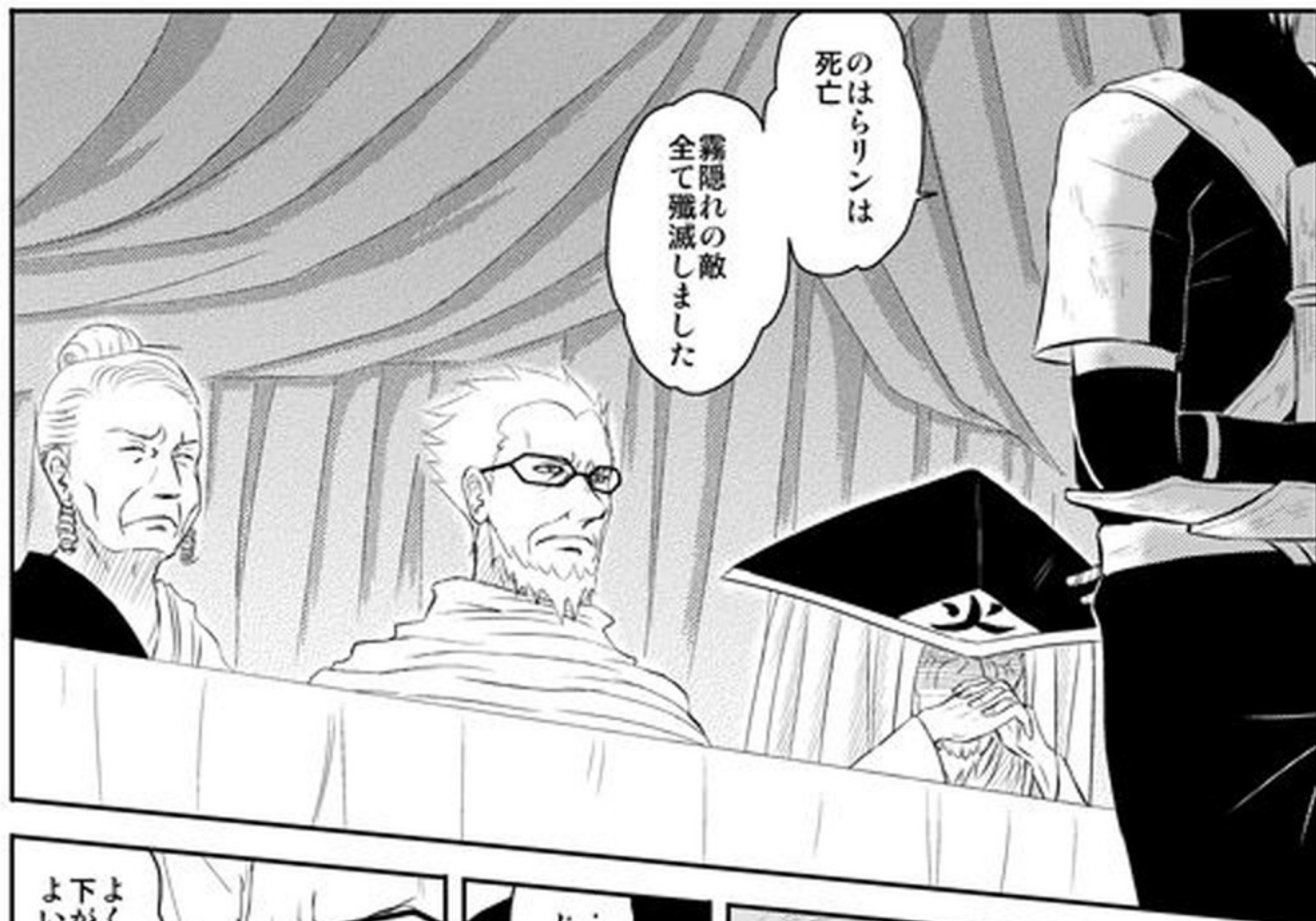
無理ですってば
あれカカシさん
顔まっつか…

うるさい!
無理じゃない!

全部入れて
やるっ!
もう!

うわっ







…なぜわざわざ
カカシに
この任務を…

うちはの血をもたない
カカシが
写輪眼を得たからだ



本来うちはだけのもの
である写輪眼を
カカシに…
しかも子どもの手で
移植できた
立証されたせいで
里内外でのめめごとが
絶えん

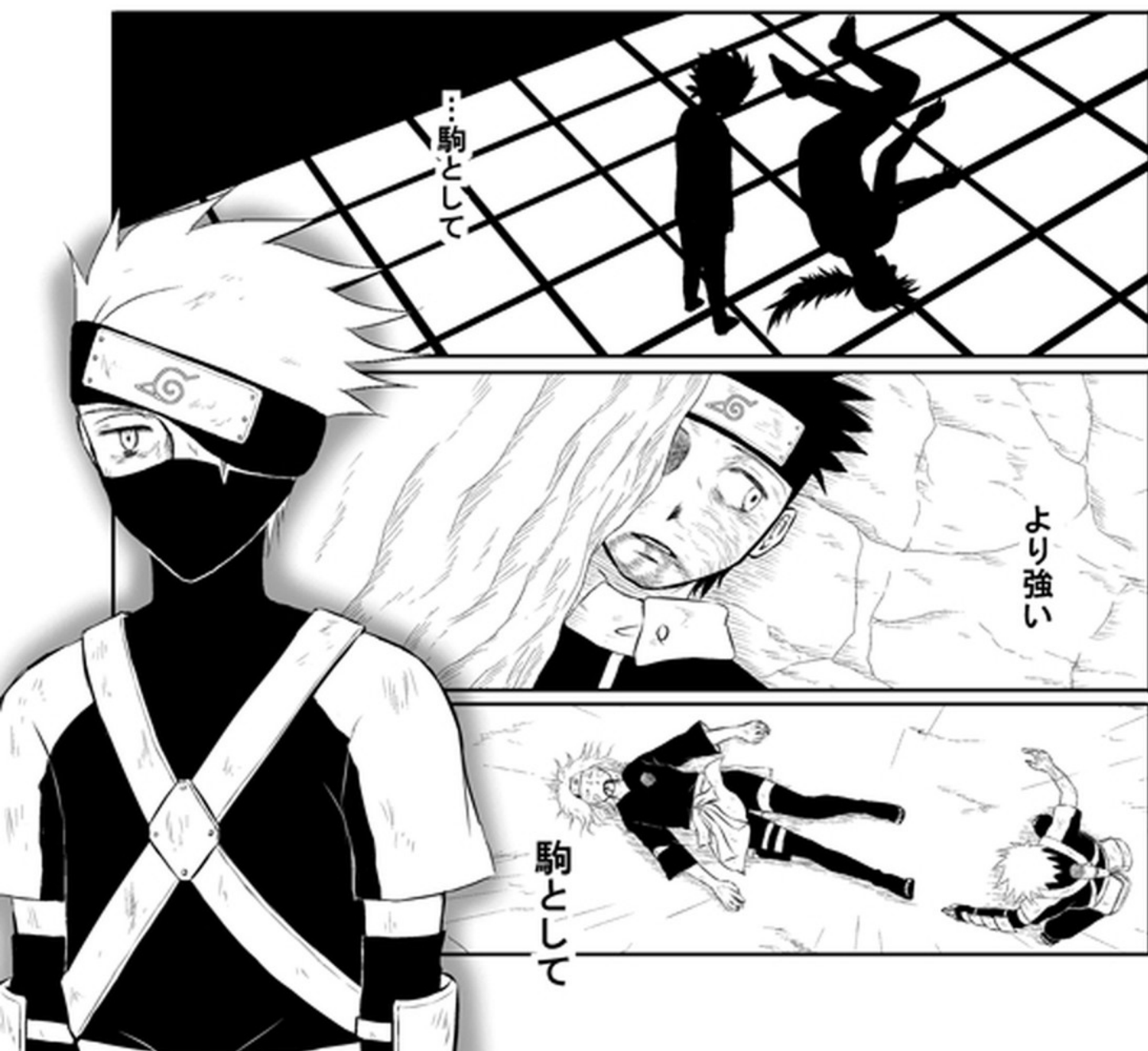
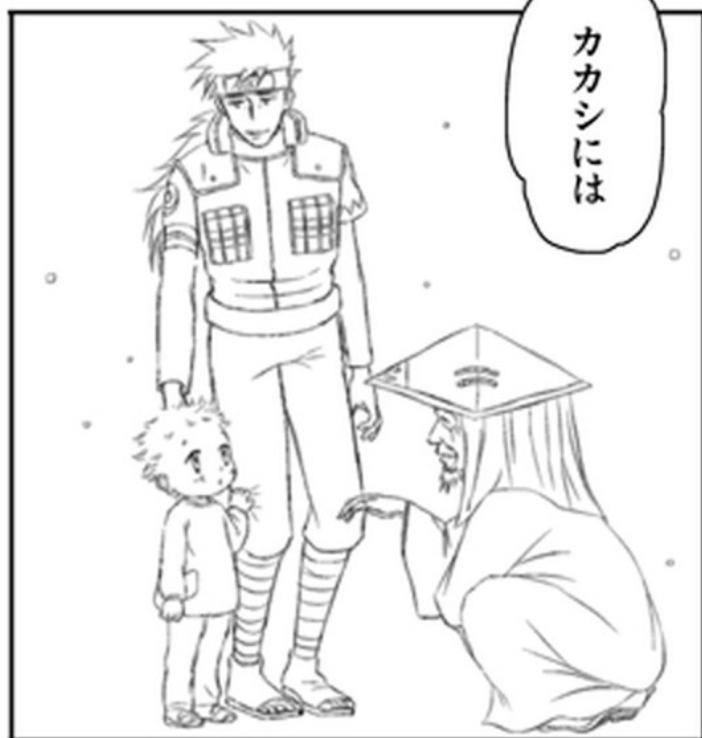
今回旧班の仲間を
命令通り
殺めたことで
カカシは里への
忠誠心をアピール
できたのじゃ



さらに
木ノ葉と霧の里を
またいだこの一件で
カカシの名は忍界に
新たな脅威として
知れ渡るだろう

そうして周囲を圧して
進むしか…もう
道がないのじゃ





生きる



ひとん。。



でもなんとかして
この喉と胸の奥につまった

夜に
押しつぶされてしまう……





また朝が来る...







俺これまでに
けっこう
アブローチしてきた
つもりだったのに

この人には
全く伝わって
なかったのか…
鈍すぎる…

か

おわり